

# 経営比較分析表（平成28年度決算）

秋田県 大潟村

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)	
-	該当数値なし	100.00	4,255	

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
3,207	170.11	18.85
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
3,144	10.39	302.60

**グラフ凡例**

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- [ ] 平成28年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



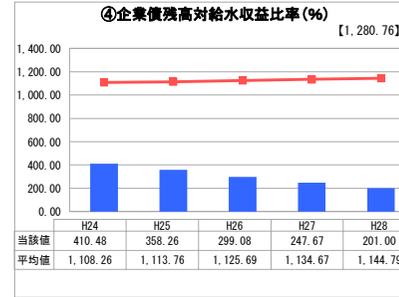
「単年度の収支」



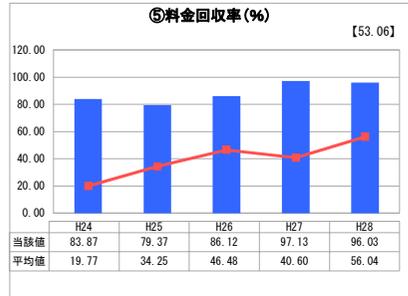
「累積欠損」



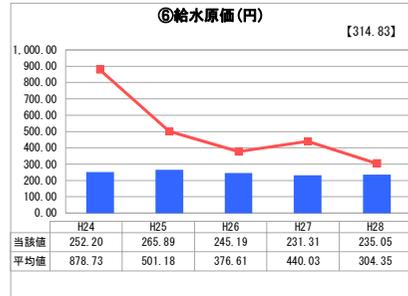
「支払能力」



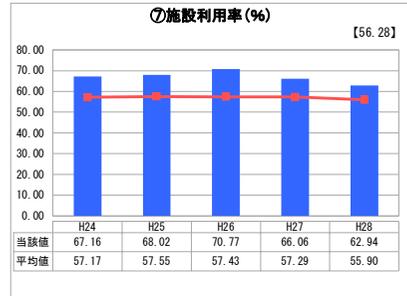
「債務残高」



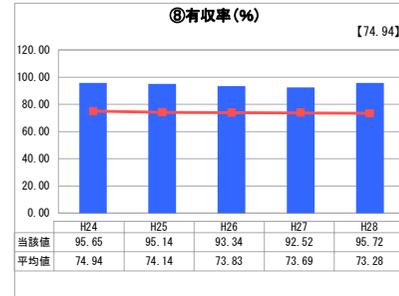
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

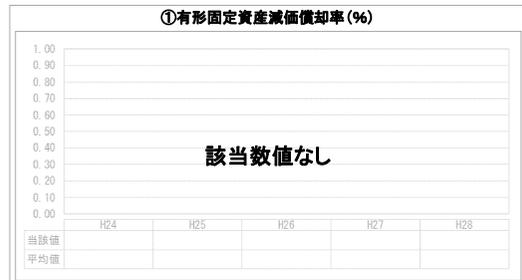


「施設の効率性」

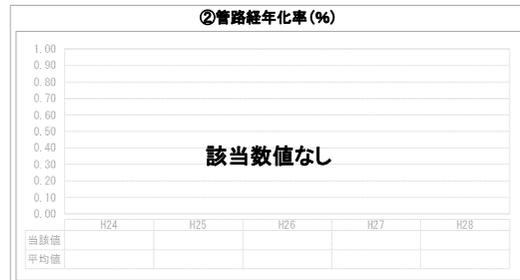


「供給した配水量の効率性」

## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

- ①収益的収支比率  
類似団体と比較して高い水準で安定している。平成29年度には、平成2～3年に行った大規模な布設替え工事の起債償還が終了するため、平成30年度以降は当該指数の上昇が見込まれる。
- ④企業債務高対給水収益比率  
類似団体と比較して低い比率で推移している。また、年々減少している理由は、平成2～3年に行った大規模な布設替え工事以降、起債が行われておらず、毎年の起債償還により地方債現在高が減少しているためである。
- ⑤料金回収率  
類似団体と比較して高い比率で推移している。平成27年度以降、90%台後半で推移しており、健全性は高い。
- ⑥給水原価  
類似団体と比較して低い水準で推移している。これは、近年大きな施設更新がなく水道事業に係る支出が増加していないためである。
- ⑦施設利用率  
類似団体と比較して高い水準で推移している。春期の田植え時期には、最大稼働率近くまで上昇することがあったが、平成29年度に配水池の増設を行い、解消となる見込みである。
- ⑧有収率  
類似団体と比較して高い水準で推移している。おおむね90%台後半で推移しており、健全性は高い。

### 2. 老朽化の状況について

- 管路については、平成2～3年に大規模な布設替え工事を実施したことにより近年は更新をしていない。そのため、管路更新率は0%で推移している。近年10年程度では大きな改修も検討しておらず、健全な状況である。

## 全体総括

経営の健全性・効率性では、全ての項目で類似団体と比較して良好な数値を示している。老朽化の状況は、現状で更新の必要がなく現状で問題はない。これらのことから、施設・経営ともに健全であることがわかる。

※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。